

# 「高特連携」について

## 1 高特連携

- ・高等学校と特別支援学校との連携を推進する県教育委員会の事業。
  - (1) 今後の岐阜県教育を担う優秀な人材を確保する、特に採用状況が厳しい特別支援学校の教員を目指す生徒の増加を図る。
  - (2) 高等学校において、発達障がい、又は発達障がいを疑われる生徒が在籍している状況があるため、特別支援教育の一層の充実を図る。
  - (3) 担当者 東濃特別支援学校 教諭 伊藤芳博 (令和3、4年度)

## 2 職務内容

- ①高校生に特別支援教育の魅力を伝え、関心を高める  
(対象校) 多治見、恵那、可児・加茂地区の大学進学を主とした公立の高等学校
- ②「生きにくさ」「生活の不安」を抱えている高校生への支援  
(対象校) 多治見地区の公立の高等学校
- ③東濃フロンティア高校との連携
  - ・教員の交流による特別支援教育、「通級」指導への理解

## 3 具体的取組 (①③の例)

- ①教員志望等の高校生に特別支援学校を見学してもらい、特支教員の魅力を具体的に実感してもらう。その事前事後に説明会を開き、特別支援教育についての理解を深める。
  - 令和3年度 7月14日 可茂特支見学 (可児高校生2人、加茂高校生3人)
  - 7月16日 東濃特支見学 (中津高校生5人)
  - 令和4年度 7月20日 東濃特支見学 (中津高校生3人)
  - 9月30日 東濃特支見学 (多治見高校生3人)

(高校生の感想)

- ・私は特別支援学校教員になることが夢ですが、初めてこのような現場に行き、生徒の様子や先生の生徒に対する支援や援助する姿を見ました。現場に来たからこそ学べるものがたくさんありました。……常に一人一人を見て、生徒に寄り添って支援しているんだと感じ、心を動かされました。特別支援学校の制度や授業内容なども具体的に学ぶことができ、本当に勉強になりました。私は、この訪問を通して、生徒の良い所や個性を伸ばしていく支援をしていく特別支援学校の教員になりたいと前よりも強く思いました。……
- ・……中でも実習活動中の生徒達はとても生き活きとしており驚かされるほどの技術と集中力に感心しました。今回の見学を通して、ぼんやりと特支の免許を取っておこうかなという気持ちから、必ず取るという確信に変わりました。……

### ③教員交流について

- ・隣接校である東濃フロンティア高校の教員に東濃特支を見学してもらい、特別支援教育についての理解を深めてもらう。 令和4年度、4回延べ12人
- ・東濃特支の先生が東フロ高の「少人数コミュニケーション講座」を参観し、「通級」と三部制高校についての理解を深める。 令和4年度、8回延べ17人